



ネットワークおよびインターネット 通信ガイド

Business Desktop

製品番号 : 312968-293

2004年11月

このガイドでは、一部のモデルにプリインストールされているネットワークインタフェースコントローラ (NIC) 機能の概念および使用手順について説明します。また、インターネットサービスプロバイダに関する情報およびインターネットの接続に関する問題の解決方法についても説明します。

© Copyright 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

Microsoft、MS-DOS、Windows、およびWindows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Hewlett-Packard Companyの書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。



警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。



注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

ネットワークおよびインターネット通信ガイド

Business Desktop

改訂第2版 2004年11月

初版 2003年2月

製品番号：312968-293

日本ヒューレット・パッカード株式会社

目次

1 ネットワーク通信	
イーサネット ネットワーク構造	1-2
NIC警告メッセージ	1-3
Wake-On-LAN (WOL) 機能	1-4
ネットワーク ステータス ランプの動作	1-5
802.3uオートネゴシエーション機能の停止	1-6
ネットワーク ドライバのインストール	1-8
無線ネットワーク	1-9
アドホック ネットワーク	1-9
アクセス ポイント (インフラストラクチャ) ネットワーク	1-10
無線ネットワークの利点	1-11
2 インターネット通信	
インターネット サービス プロバイダの選択	2-1
コンテンツ アドバイザ	2-2
インターネット コンテンツの規制	2-2
インターネット アクセスに関するトラブルの解決方法	2-4

ネットワーク通信

この章では、以下の項目について説明します。

- イーサネット ネットワーク構造
- ネットワーク インタフェース コントローラ (NIC) 警告メッセージ
- Wake-On-LAN (WOL) 機能
- ネットワーク ステータス ランプの動作
- 802.3uオートネゴシエーション機能の停止
- ネットワーク ドライバのインストール
- 無線ネットワーク

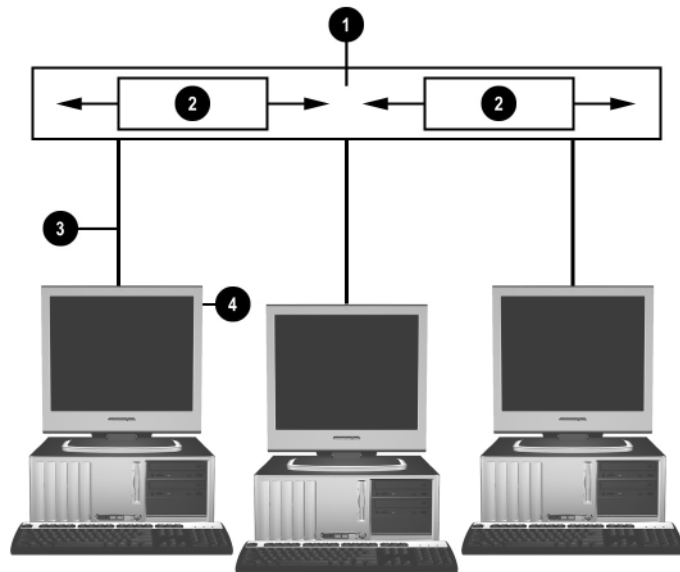
この章ではイーサネット ネットワークについて説明します。また、イーサネット ネットワークにアクセスするためのハードウェア コネクタやソフトウェア デバイス ドライバについても説明します。コンピュータ ネットワークにアクセスすると、直ちに生産性の向上を図ることができます。ネットワーク接続をアクティブにすると、プリンタなどのリソースを共有したり、コンピュータ同士で情報を交換したり、共通のソフトウェア プログラムを実行したりできるようになります。

お使いのコンピュータのハードディスク ドライブには、統合型ネットワーク コントローラおよびネットワーク デバイス ドライバがすでにロードされているため、工場出荷時にネットワークに対応できる状態になっています。このため、お使いのコンピュータからすぐにネットワークに接続できます。

イーサネット ネットワーク構造

すべてのイーサネット ネットワークには、次の要素のどれかの組み合わせが含まれます。

- ① イーサネット ケーブル
- ② 情報パケット
- ③ 引き込みケーブル
- ④ ワークステーション



イーサネット ネットワーク構造

ネットワーク コネクタの種類については、Documentation CD (ドキュメンテーションCD) に収録されている『ハードウェア リファレンス ガイド』を参照してください。

NIC警告メッセージ

一部のNICには警告メッセージの機能が備わっているため、システム管理者はネットワークに接続されたコンピュータをリモートで監視することができます。ハードウェアおよびオペレーティングシステムに関する警告メッセージは、オペレーティングシステムをロードする前、オペレーティングシステムをロードしているとき、コンピュータが低電力消費モードのとき、および電源を切るときに、ネットワーク経由で送信できます。NICのモデルによって異なりますが、次の警告メッセージをそれぞれの状態のときに監視できます。

- システムBIOSの停止：動作時
- オペレーティングシステムの停止：動作時
- プロセッサが見つからない：電源投入時
- 動作温度が許容値を超えた：動作時
- シャーシの異常：電源投入時/動作時（システムを実行中の場合）
- ウォッチドッグ：動作時（オペレーティングシステムの停止と同じ）
- ハートビート監視：常時



警告メッセージの機能が備わっているNICは、Alert Standard Format (ASF) 2.0の仕様に準拠しており、Remote Management and Control Protocol (RMCP) 警告メッセージをサポートしています。ASF 1.0の仕様はセキュリティ機能が不十分なため、この仕様に準拠しているNICではRMCP警告メッセージがサポートされません。

NIC警告メッセージは、お使いのNICに対応したASF 2.0エージェントをインストールすると有効になり、構成されます。ASF 2.0エージェントは、<http://www.hp.com/jp/> から入手できます。ASF 警告メッセージは、Common Information Model (CIM) を使用して有効にし、構成することもできます。

Wake-On-LAN (WOL) 機能

Windows[®] XPおよびWindows 2000では、Wake-On-LAN (WOL) 機能を有効/無効に設定することができます。

Wake-On-LAN機能を有効/無効に設定するには、以下の手順で操作します。

Windows XPの場合

1. [スタート]→[コントロール パネル]の順に選択します。
2. [ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]の順に選択します。
3. [ローカル エリア接続]をダブルクリックします。
4. [プロパティ]をクリックします。
5. [構成]をクリックします。
6. [電源の管理]タブをクリックし、[このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]チェック ボックスをオンまたはオフにします。

Windows 2000の場合

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順に選択します。
2. [ネットワークとダイヤルアップ接続]をダブルクリックします。
3. [ローカル エリア接続]を右クリックします。
4. [プロパティ]をクリックします。
5. [構成]をクリックします。
6. [電源の管理]タブをクリックし、[このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻すことができるようにする]チェック ボックスをオンまたはオフにします。

ネットワーク ステータス ランプの動作

一部のイーサネット ネットワーク インタフェース コントローラには、次のネットワーク ステータス ランプがあります。

- LNK (Link) ランプは、アクティブなネットワークにシステムが物理的に接続しているときに点灯します。
- ACT (Activity) ランプは、コンピュータがネットワーク通信を検出したときに点滅します。頻繁に通信しているネットワークに接続している場合は、ほぼ点灯したままの状態が続きます。
- 動作速度 (Operating Speed) ランプは、1000 Mbps回線または100 Mbps回線が動作している場合に点灯します。ランプの色は動作速度を示します。

NICの種類によっては、ネットワーク ステータス ランプが2つしかないことがあります。この場合は、ネットワークが接続している状態 (点灯) とネットワークが通信中の状態 (点滅) を1つのランプで示します。もう1つのランプは、1000 Mbps回線または100 Mbps回線が動作している場合に点灯します。統合型NICでは、NICコネクタに次の2つのネットワーク ステータス ランプがあります。

- LNK (Link) /ACT (Activity) ランプ : ネットワークに物理的に接続しているときは緑色に点灯し、ネットワーク通信は点滅で示します。
- 動作速度 (Operating Speed) ランプ : 1000 Mbps回線が動作しているときは緑色、100 Mbps回線が動作しているときは黄色に点灯し、10 Mbps回線が動作しているときは消灯します。

802.3uオートネゴシエーション機能の停止

NICのオートネゴシエーション機能は、接続されているネットワークの最高データ転送速度と二重通信機能を自動的に検出して、最も一般的な組み合わせでコンピュータの設定を調節する機能です。コンピュータは、ネットワーク回線が正しく接続されるたび、またNICドライバがロードされたときに、オートネゴシエーションを開始します。

また、データ転送速度の検出の他に、コンピュータは全二重通信がサポートされているかどうかを検出します。全二重通信では、データの送受信を同時に行うことができますが、半二重通信では、データの送受信を同時には行えません。

必要に応じて、オートネゴシエーション機能を停止させ、特定の通信モードに設定することもできます。通信モードを設定するには、次の手順で操作します。

Windows XPの場合

1. [スタート]→[コントロール パネル]の順に選択します。
2. [ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]の順に選択します。
3. [ローカル エリア接続]をダブルクリックします。
4. [プロパティ]ボタンをクリックします。
5. [構成]ボタンをクリックします。
6. [詳細設定]タブをクリックします。
7. [プロパティ]一覧から[Link Speed & Duplex]を選択します。
8. [値]ドロップダウンリストから適切な設定を選択し、お使いのネットワーク環境に合わせて変更します。
9. 設定を有効にするために、[OK]ボタンをクリックしてコンピュータを再起動します。

Windows 2000の場合

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順に選択します。
2. [ネットワークとダイヤルアップ接続]をダブルクリックします。
3. [ローカル エリア接続]を右クリックします。
4. [プロパティ]ボタンをクリックします。
5. [構成]ボタンをクリックします。
6. [詳細設定]タブをクリックします。
7. [プロパティ]一覧から[Link Speed & Duplex]を選択します。
8. [値]ドロップダウン リストから適切な設定を選択し、お使いのネットワーク環境に合わせて変更します。
9. 設定を有効にするために、[OK]ボタンをクリックしてコンピュータを再起動します。

詳しくは、ネットワーク コントローラに付属のマニュアルを参照してください。



100Base-TX通信および1000Base-TX通信には、RJ-45コネクタ付きのカテゴリ5 UTPケーブルが必要です。

ネットワーク ドライバのインストール

ネットワーク ソフトウェアのデバイス ドライバを使用すると、コンピュータがネットワークと通信できるようになります。ユーザが使用する可能性があるオペレーティング システムに合わせて、コンピュータにはいくつかの異なる環境用のデバイス ドライバが含まれています。

ネットワーク コントローラのデバイス ドライバを使用すると、実行中のオペレーティング システムにドライバが正常にロードされ、ネットワーク通信が利用できるようになります。



コンピュータには、モデルにより Windows XP Professional 用、Windows XP Home 用、および Windows 2000 オペレーティング システム用のデバイス ドライバが含まれています。その他のオペレーティング システムを使用する場合は、オペレーティング システムに付属のメディアまたは HP から入手できるデバイス ドライバ ファイルから必要なドライバをインストールしてください。オペレーティング システムの再インストールが必要な場合は、Restore Plus! CD をお使いください。

ネットワーク デバイス ドライバをインストールするための手順は、C:\¥COMPAQ¥NIC ディレクトリに格納されている ASCII テキスト ファイルに記載されています。サブディレクトリに格納されているネットワーク環境についての説明ファイルを参照してください。

以下の手順に従って、お使いのオペレーティング システムに対応する正しいデバイス ドライバをインストールします。

Windows XP の場合

1. [スタート]→[コントロール パネル]の順に選択します。
2. [ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]の順に選択します。
3. [新しい接続を作成する]をクリックし、画面の指示に従って操作します。

Windows 2000 の場合

C:\¥COMPAQ¥NIC ディレクトリに格納されている ASCII テキスト ファイルに記載されている手順に従って操作します。サブディレクトリに格納されているネットワーク環境についての説明ファイルを参照してください。

無線ネットワーク

無線LANでは、ケーブルで接続されたネットワークと同じ機能が提供されますが、ネットワーク用のケーブルやその他のネットワーク機器が不要になるため、設置が簡単です。

無線LANは、2つの異なる動作モードのどちらかにコンフィギュレーションできます。それぞれのモードには他方ない長所があるので、ニーズにより適している方を選択してください。以下のコンフィギュレーション情報を検討して、どちらのモードがより適しているかを決定してください。

- アドホック ネットワーク
- アクセス ポイント（インフラストラクチャ） ネットワーク

アドホック ネットワーク

アドホック ネットワークは設置が最も簡単であり、小規模のオフィスに最適です。アドホック無線ネットワークは、互いに通信するようにコンフィギュレーションした複数の無線クライアントで構成できます。すべてのアドホッククライアントが、アクセス ポイント（AP）を使用しないで、互いに直接通信できます。この種類のネットワークのユーザは、短時間で無線ネットワークを構築することで他のユーザとファイルを共有し、共有のオフィスプリンタでプリントし、単一の共有の接続を経由してインターネットを利用することができます。

アドホック ネットワークでは、ネットワークのセットアップに他のデバイスのコンポーネント（アクセス ポイント、ハブ、ルータなど）が不要なため、コスト面で効率的です。ただし、アドホック ネットワークでは、近くの無線クライアントとしか通信できません。

アクセス ポイント（インフラストラクチャ）ネットワーク

アクセス ポイント ネットワークは「インフラストラクチャ」ネットワークとも呼ばれます。無線アクセス ポイント ネットワークがアドホック ネットワークと大きく異なる点は、アクセス ポイントという特別な要素が追加されるということです。アクセス ポイントは、無線ネットワーク上のすべてのデータトラフィックの中心拠点としての役割を持ち、すべての無線データトランザクションを適切に管理します。

アクセス ポイントによって、無線LANの範囲が拡大されます。各無線クライアント コンピュータは、アクセス ポイントの範囲内にある無線デバイスを備えた他のコンピュータと通信できます。

さらに、無線インフラストラクチャでは、既存の有線LANにもアクセスできます。この機能によって、インフラストラクチャ無線LAN上のコンピュータは、他の有線LANのリソースとツールにアクセスできるようになります。これには、インターネットへのアクセス、電子メールの配信、ファイル転送、プリンタの共有などが含まれます。HPでは、無線LANを有線LANに接続するために必要な設置サービスをすべてご提供できます。

無線ネットワークに接続するコンピュータの他に、次の2種類の機器があれば、アクセス ポイントを使用して無線ネットワークを構築できます。

- **アクセス ポイント**：圏内のすべてのユーザを無線LANに接続する、無線信号の発信機。アクセス ポイントは、必要に応じて何台でもネットワーク上に設置でき、ネットワークの拡大に応じて簡単に追加できるため、1つの無線LANでオフィス全体をカバーできます。各アクセス ポイントには、次の2つのものがが必要です。
 - 電源供給用の標準のコンセント
 - 既存の有線LAN用のイーサネット接続またはインターネットの接続
- **無線 LAN カード**：コンピュータが無線ネットワークと通信するための、ネットワーク インタフェース カード (NIC) に相当するカード。多くのHP製コンピュータには無線LANカードが内蔵されているため、購入後すぐに無線ネットワークに接続できます。お使いのコンピュータに無線LANカードが内蔵されていない場合は、簡単に取り付けることができます。取り付ける方法については、Documentation CDに収録されている『ハードウェア リファレンス ガイド』を参照してください。

無線ネットワークの利点

無線ローカルエリアネットワーク（無線LAN）により、ビジネスの環境がより柔軟で快適になります。無線ネットワークの利点には、次のものが含まれます。

- 職場に面倒で費用の高い配線を行う必要がありません。
- 職場全体を追加したり移動したりする際、ネットワークの切断時間を最低限に抑えられます。
- ネットワークコネクタの位置を気にせずに、職場の配置替えを行うことができます。
- 無線LANの導入は通常、有線ネットワークより速く行うことができ、コスト面でも効率的です。
- 無線LANへのコンピュータの追加を、すばやく、最低限のコストで行うことができます。
- 無線LAN導入後の維持や管理は、有線ネットワークより簡単です。
- 無線LANにより、オフィスやキャンパス内であれば時間や場所を問わずに、リアルタイムのビジネス情報にアクセスできるようになります。
- 外出先では公共の無線LANを利用して、セキュリティ保護された高速通信を実現できます。また、電子メール、インターネット、および印刷機能も簡単に利用できます。

インターネット通信

この章では、以下の項目について説明します。

- インターネット サービス プロバイダの選択
- コンテンツ アドバイザ
- インターネット アクセスに関するトラブルの解決方法

インターネット サービス プロバイダの選択

インターネット サービス プロバイダ (ISP) は、インターネットへの接続に必要な、ダイヤルアップ、ケーブル、DSL、または無線を利用したアクセスおよびソフトウェアを提供します。ほとんどのプロバイダはこの他にも、電子メール、ニュースグループへのアクセス、ホームページを作成するスペース、および技術的なサポートを提供しています。インターネット上で仕事をしたい個人や企業向けに、ドメイン ホスティングなどの商業サービスを提供するプロバイダもあります。お近くのプロバイダや全国展開しているプロバイダから選択できます。

MSNやアメリカ オンライン (AOL) のようなオンライン サービス プロバイダは、インターネット接続サービスの他に、特徴のあるサービス、コンテンツ、および技術サポートを提供しています。オンライン サービス プロバイダには、カテゴリ分けされ、カスタマイズ可能なホームページが用意されているので、インターネット上の有名なサイトや役に立つサイトを簡単に見つけられます。

次の方法で、自分に合ったプロバイダを探します。

- 電話帳で探す
- 友人や同僚の意見を聞く

- すでにインターネットに接続している場合は、Googleのような検索エンジンを使って、ISPやオンラインサービス プロバイダを探す
- ほとんどのISPでは、さまざまなサービス プランを用意して、ユーザの多様なニーズに対応しています。プロバイダの提供するサービスや価格などを比較検討して、ご自身に合ったプロバイダを探してください。

コンテンツ アドバイザ

インターネットを使用するとさまざまな情報にアクセスできますが、すべてのユーザには適していない情報もあります。

コンテンツ アドバイザを使用して、以下の設定を行うことができます。

- インターネットへのアクセスを規制する
- パスワードを設定する
- コンピュータの使用者が見ることができないWebサイトの一覧を設定する
- コンピュータの使用者がユーザの許可を得てまたは得ずに見ることができるコンテンツの種類を調節する

インターネット コンテンツの規制

Windows XPの場合

以前にコンテンツ アドバイザを有効に設定していない場合は、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]の順に選択します。
2. [ネットワークとインターネット接続]→[インターネット オプション]の順に選択します。
3. [コンテンツ]タブをクリックします。
4. [コンテンツ アドバイザ]領域で、[有効にする]ボタンをクリックします。以前にインターネット設定のパスワードを作成してある場合は、そのパスワードを入力する画面が表示されます。
5. 一覧からカテゴリを選択してスライダをドラッグし、使用する制限を設定します。制限するカテゴリごとにこの手順を繰り返します。

6. [OK]をクリックして、[パスワード]ボックスにパスワードを入力します。コンテンツ アドバイザが有効に設定されたことを知らせるダイアログボックスが表示されたら、[OK]をクリックします。

以前にコンテンツ アドバイザを有効に設定してある場合は、以下の手順に従って操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]の順に選択します。
2. [ネットワークとインターネット接続]→[インターネット オプション]の順に選択します。
3. [コンテンツ]タブをクリックします。
4. 設定を変更するには、以下の手順で操作します。
 - a. [設定]ボタンをクリックし、パスワードを入力して[OK]をクリックします。
 - b. 一覧からカテゴリを選択してスライダをドラッグし、使用する制限を設定します。制限するカテゴリごとにこの手順を繰り返します。
5. コンテンツ アドバイザを無効に設定するには、以下の手順で操作します。
 - a. [無効にする]ボタンをクリックし、パスワードを入力して[OK]をクリックします。
 - b. コンテンツ アドバイザが無効に設定されたことを知らせるダイアログボックスが表示されたら、[OK]をクリックします。

Windows 2000の場合

以前にコンテンツ アドバイザを有効に設定していない場合は、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順に選択します。
2. [インターネット オプション]をダブルクリックします。
3. [コンテンツ]タブをクリックします。
4. [コンテンツ アドバイザ]領域で、[有効にする]ボタンをクリックします。
5. 一覧からカテゴリを選択してスライダをドラッグし、使用する制限を設定します。制限するカテゴリごとにこの手順を繰り返します。
6. [OK]をクリックして、[パスワード]ボックスにパスワードを入力します。コンテンツ アドバイザが有効に設定されたことを知らせるダイアログボックスが表示されたら、[OK]をクリックします。

以前にコンテンツ アドバイザを有効に設定してある場合は、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順に選択します。
2. [インターネット オプション]をダブルクリックします。
3. [コンテンツ]タブをクリックします。
4. 設定を変更するには、以下の手順で操作します。
 - a. [設定]ボタンをクリックし、パスワードを入力して[OK]をクリックします。
 - b. 一覧からカテゴリを選択してスライダをドラッグし、使用する制限を設定します。制限するカテゴリごとにこの手順を繰り返します。
5. コンテンツ アドバイザを無効に設定するには、以下の手順で操作します。
 - a. [無効にする]ボタンをクリックし、パスワードを入力して[OK]をクリックします。
 - b. コンテンツ アドバイザが無効に設定されたことを知らせるダイアログ ボックスが表示されたら、[OK]をクリックします。

インターネット アクセスに関するトラブルの解決方法

インターネット アクセスに関するトラブルが発生した場合は、ISPに問い合わせるか、または以下の解決方法を参照してください。

インターネット アクセスに関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
インターネットに接続できない	インターネット サービス プロバイダ (ISP) のアカウントが正しく設定されていない	インターネットの設定を確認するか、ISPに問い合わせます
	モデムが正しくセットアップされていない	モデムを接続しなおします。クイック セットアップに関するマニュアルを参照して、正しく接続されていることを確認します
	Web ブラウザが正しくセットアップされていない	Web ブラウザがインストールされており、ISPへのセットアップが完了していることを確認します
	ケーブル/DSL モデムが接続されていない	ケーブル/DSL モデムを接続します。ケーブル/DSL モデムの前面の電源ランプが点灯します

インターネット アクセスに関するトラブルの解決方法 (続き)

トラブル	原因	解決方法
インターネットに接続できない (続き)	ケーブル/DSLサービスが使用できない、または悪天候のため中断している	後でインターネットに接続しなすか、ISPに問い合わせます (ケーブル/DSLサービスに接続すると、ケーブル/DSLモデムの前面のケーブルランプが点灯します)
	CAT5 UTPケーブルが接続されていない	CAT5 UTPケーブルで、ケーブル モデムをコンピュータのRJ-45 コネクタに接続します (正しく接続されると、ケーブル/DSLモデムの前面のPCランプが点灯します)
	IPアドレスが正しく構成されていない	ISPに正しいIPアドレスを問い合わせます
インターネット プログラムを自動的に起動できない	Cookieが壊れている (「Cookie」はWebサーバがWebブラウザに一時的に格納する情報です。Webサーバが後で取得する特定の情報をWebブラウザに記憶させるときに役立ちます)	Windows XPの場合 : <ol style="list-style-type: none"> 1. [スタート]→[コントロール パネル]の順に選択します 2. [ネットワークとインターネット接続]→[インターネット オプション]の順に選択します 3. [全般]タブで、[Cookieの削除]ボタンをクリックします Windows 2000の場合 : <ol style="list-style-type: none"> 1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順に選択します 2. [インターネット オプション] をダブルクリックします 3. [全般]タブで、[Cookieの削除]ボタンをクリックします
	プログラムによっては、起動する前にISPにログオンする必要がある	ISPにログオンしてから、目的のプログラムを起動します

インターネット アクセスに関するトラブルの解決方法（続き）

トラブル	原因	解決方法
インターネットでのWebサイトのダウンロードに時間がかかる	モデムが正しくセットアップされていない	モデム速度およびCOMポートが正しく選択されていることを確認します Windows XPの場合： <ol style="list-style-type: none">1. [スタート]→[コントロール パネル]の順に選択します2. [パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]の順に選択します3. [ハードウェア]タブをクリックします4. [デバイス マネージャ]領域にある[デバイス マネージャ]ボタンをクリックします5. [ポート (COMとLPT)]をダブルクリックします6. モデムが使用しているCOMポートを右クリックして、[プロパティ]をクリックします7. [デバイスの状態]領域で、モデムが正しく動作していることを確認します8. [デバイスの使用状況]領域で、モデムが有効に設定されていることを確認します9. 他にも問題がある場合は、[トラブルシューティング]ボタンをクリックし、画面の指示に従って操作します

インターネット アクセスに関するトラブルの解決方法 (続き)

トラブル	原因	解決方法
インターネットでのWebサイトのダウンロードに時間がかかる (続き)	モデムが正しくセットアップされていない (続き)	モデム速度およびCOMポートが正しく選択されていることを確認します (続き) Windows 2000の場合： <ol style="list-style-type: none">1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順に選択します2. [システム]をダブルクリックします3. [ハードウェア]タブをクリックします4. [デバイス マネージャ]領域にある[デバイス マネージャ]ボタンをクリックします5. [ポート (COMとLPT)]をダブルクリックします6. モデムが使用しているCOMポートを右クリックして、[プロパティ]をクリックします7. [デバイスの状態]領域で、モデムが正しく動作していることを確認します8. [デバイスの使用状況]領域で、モデムが有効に設定されていることを確認します9. 他にも問題がある場合は、[トラブルシューティング]ボタンをクリックし、画面の指示に従って操作します